

審議対象資料●. 現行会員資格規定と会員資格規定変更案の対比表

		現行規定			変更案
第1章 入会			第1章 入会		
第1条		社団法人札幌青年会議所(以下「本会」という。)の入会 手続は定款第12条に基づき本規定による。	第1条 入会		一般社団法人札幌青年会議所(以下「本会議所」と いう。)の入会手続は定款第7条に基づき本規程によ る。
第2条		会員の入会は毎年行なう。	第2条 会員の入会		会員の入会は毎年行なう。
第3条		入会希望者には、正会員2名の推薦を要する。 推薦者は、所定の推薦書を理事会の決定する締め切り期 日までに提出しなければならない。	第3条 正会員の推 薦		入会希望者には、正会員2名の推薦を要する。 推薦者は、所定の推薦書を理事会の決定する締め切 り期日までに提出しなければならない。
第4条 (会員推薦 者の資格お よび責任)	1	前条に規定する推薦者は、次の各号の要件を具備しな ければならない。 (1) 推薦年度の会費を所定の期日までに納入したこと。 (2) 推薦者のうち1人は、入会後満1年以上経過し推薦 の日より過去1年間の例会に60%以上出席した者で あること。	第4条 会員推薦者 の資格及び責 任	1	前条に規定する推薦者は、次の各号の要件を具備し なければならない。 (1) 推薦年度の会費を所定の期日までに納入した こと (2) 推薦者のうち1人は、入会後満1年以上経過 し推薦の日より過去1年間の例会に60%以上 出席した者であること (3) 推薦者のうち1人は、在籍期間が残り1年以上 ある者であること
	2	推薦者は被推薦者の各種会合に対する出席の確保に務 め、同人の入会年度における会費等納入につき、連帯して 支払う責任を負う。		2	推薦者は被推薦者の各種会合に対する出席の確保に 務め、同人の入会年度における会費等納入につき、連 帯して支払う責任を負う。
第5条 (会員選考 委員会)	1	会員選考のため、会員選考委員会を設置する。	第5条 会員選考委 員会	1	会員選考のため、会員選考特別委員会を設置する。
	2	会員選考委員会の委員長および委員は、理事長が指名し 理事会の承認を得た若干名の会員がこれにあたる。		2	会員選考特別委員会の委員長及び委員は、理事長 が指名し理事会の承認を得た若干名の正会員がこれ にあたる。
第6条 (会員選考 委員会の審 査)		会員推薦書の提出があったときは会員選考委員会は被推 薦者入会資格および推薦の適否を審査する。	第6条 会員選考委 員会の審査		会員推薦書の提出があったときは会員選考委員会にお いて被推薦者入会資格及び推薦の適否を審査する。
第7条		推薦者が「推薦適当」の審査通知を受けたときは、被推薦 者は所定の入会申込書を会員選考委員会の定めた期日 までに提出しなければならない。	第7条 入会申込書 の提出		被推薦者は所定の入会申込書を会員選考特別委員 会の定めた期日までに提出しなければならない。
第8条	1	会員選考委員会は入会申込書の記載内容について審査 を行い、すみやかに審査結果を理事会に報告しなければ ならない。	第8条 理事会への 報告	1	会員選考特別委員会は入会申込書の記載内容につ いて審査を行い、すみやかに審査結果を理事会に報告 しなければならない。
	2	会員選考委員会は前項の審査を経たのちに6か月以内の 仮入会の期間を設けることができる。		2	会員選考特別委員会は前項の審査を経たのちに6か 月以内の仮入会の期間を設けることができる。
第9条 (理事会に おける議決)		会員の入会を認めるには、理事会において出席理事の無 記名投票による3分の2以上の賛成を要する。	第9条 理事会におけ る承認		理事会は第8条1項の規定に基づき 報告を受けた後に、採決を行い、出 席理事の無記名投票による3分の2 以上の賛成によって会員の入会を承 認する
第10条 (入会決定 通知)		理事長は、理事会において入会決定した者およびその推薦 者に対し、入会決定を通知しなければならない。	第10条 入会決定通 知		理事長は、入会決定した者及びその推薦者に対し、適 宜の方法により入会決定を通知しなければならない。
第11条 (新会員の 義務)	1	前条の通知を受けた者は、指定の期日までに入会金、当 該期の会費、その他経費を納入するものとする。	第11条 新会員の 義務	1	前条の通知を受けた者は、指定の期日までに入会金、 当該期の会費、その他経費を納入するものとする。
	2	新会員は、研修会に出席して青年会議所運動についての 理解を深め、会員としての自覚と資格の向上に努めなけ ばならない。		2	新入会員は、研修会に出席して青年会議所運動につ いての理解を深め、正会員としての自覚と資質の向上 に努めなければならない。
	3	新会員は下記事項につき速やかに札幌青年会議所宛書 面より提出しておかなければならない。 1) 職業 2) 勤務先		3	新入会員は下記事項につき速やかに本会議所宛書面 より提出しておかなければならない。 (1) 職業 (2) 勤務先

		3) 役職 4) 商号 5) 勤務先住所 6) 住所 7) 家族構成 8) 電話番号 9) FAX番号			(3) 役職 (4) 勤務先名称 (5) 勤務先住所 (6) 住所 (7) 家族構成 (8) 電話番号 (9) FAX番号 (10) メールアドレス
第2章 退会			第2章 退会		
第12条		会員は定款第16条に基づき退会届を理事会に提出した場合には、退会届提出日をもって退会とする。	第12条 退会		会員は定款第9条に基づき退会届を専務理事に提出した場合には、退会届提出日をもって退会とする。
第3章 除名			第3章 除名		
第13条 (会員審査特別委員会)	1	理事長は、必要と認めた場合に定款第2章第17条に基づき会員の資格審査を行うため会員審査特別委員会を設置することができる。	第13条 会員審査特別委員会	1	理事長は、必要と認めた場合に定款第2章第10条に基づき会員の資格審査を行うため会員審査特別委員会を設置することができる。
	2	会員審査特別委員会の委員長および委員は、理事長が指名し理事会がこれを承認する。		2	会員審査特別委員会の委員長及び委員は、理事長が指名し理事会がこれを承認する。
第14条 (審査・督促)	1	会員審査特別委員会は、会員が定款第2章第17条の各号の一に該当する疑いがあると認められた場合には当該会員の審査しなければならない。	第14条 (審査・督促)	1	会員審査特別委員会は、会員が定款第2章第10条の各号の一に該当する疑いがあると認められた場合には当該会員の会員資格を審査しなければならない。
	2	会員審査特別委員会は、定款第2章第17条1項2号に該当すると認められる会員に対し、別表記載督促手続に従って督促をしなければならない。		2	会員審査特別委員会は、定款第2章第10条2号に該当すると認められる会員に対し、別表記載督促手続に従って督促をしなければならない。
	3	会員審査特別委員会は、当該会員の審査を行うについて必要と認めるときは、会員推薦者に意見を述べる機会を与え、もしくは当該会員に弁明の機会を与えることができる。		3	会員審査特別委員会は、当該会員の審査を行うについて必要と認めるときは、会員推薦者に意見を述べる機会を与え、若しくは当該会員に弁明の機会を与えることができる。
第15条 (除名の手続き)	1	会員審査特別委員会は、審査の後当該会員の除名が相当と認定した場合には、理事会に対し理由を付して除名に関する理事会決議の議案を提出することができる。	第15条 除名の手続き	1	会員審査特別委員会は、審査の後当該会員の除名が相当と認定した場合には、理事会に対し理由を付して除名に関する理事会決議の議案を提出することができる。
	2	理事会は、会員審査特別委員会の調査報告を基に審議の上、当該会員を総会において除名すべきことを決議することができる。		2	理事会は、会員審査特別委員会の調査報告を基に審議の上、当該会員を総会において除名すべきことを決議することができる。
	3	前項の理事会の決議がなされた場合、理事長は総会に当該会員の除名の議案を提出するものとする。		3	前項の理事会の決議がなされた場合、理事長は総会に当該会員の除名の議案を提出するものとする。
	4	理事長は、総会に会員除名の議案を提出する際に予め当該会員に対して総会において弁明の機会を与える旨の通知を届出住所地向けて発するものとする。		4	理事長は、総会に会員除名の議案を提出する際に予め当該会員に対して総会において弁明の機会を与える旨の通知を届出住所地向けて発するものとする。
	5	総会において除名の決議がなされた場合、当該会員は除名となる。		5	総会において除名の決議がなされた場合、当該会員は除名となる。
第16条 (除名会員の未納会費)		除名された会員は、会費納入義務を免れるものではない。	第16条 除名会員の未納会費		除名された会員は、会費納入義務を免れるものではない。
第4章 休会			第4章 休会		
第17条 (休会事由)		定款第14条に規定された正会員が休会できるやむを得ない事由とは次の各号の事由をいう。 (1) 長期療養を必要とする場合 (2) 長期業務出張の場合 (3) その他理事会で認められた事由	第17条 休会	1	正会員がやむを得ない事由により長期間出席できないときは、休会することができる。
				2	前項に規定された正会員が休会できるやむを得ない事由とは次の各号の事由をいう。 (1) 長期療養を必要とする場合 (2) 長期業務出張の場合 (3) その他正当な理由がある場合

第 1 8 条 (休会手続)		休会を希望する者は、理事長に対し、所定の様式に従い休会届けを提出しなければならない。	第 1 8 条 休会手続		休会を希望する者は、専務理事に対し、所定の様式に従い休会届けを提出しなければならない。
第 1 9 条 (休会期間)		休会の適用期間は、休会希望者の希望を斟酌した上で理事会において定める。			
第 2 0 条 (休会者の 権利・義務)	1	休会者は、定款諸規則に規定された会員の権利を失うものではない。	第 1 9 条 休会者の 権利・義務	1	休会者は、定款諸規則に規定された会員の権利を失うものではない。
	2	休会者は、会費等の納入義務を免れるものではない。		2	休会者は、会費等の納入義務を免れるものではない。
附則		本規定は昭和48年3月12日より施行する。 昭和51年6月25日 一部改正 昭和52年12月6日 一部改正 昭和53年12月5日 一部改正 昭和57年12月1日 一部改正 昭和63年11月24日一部改正 平成5年11月12日 一部改正 平成6年11月25日 一部改正	附則		この規程は一般社団法人札幌青年会議所の設立登記の日から施行する。

【督促手続】
(別表)

月日	前期会費請求の流れ	後期会費請求の流れ
1／末	前期会費請求書発送	
2／20	会費自動引き落とし日	
3／10	振込期日	
4／1	第1回目再請求書発送(振込期日:4／末)	
5／1	第2回目再請求書発送(振込期日:5／末)	
6／1	第3回目再請求書発送(振込期日:6／末)	
6／末		後期会費請求書発送
7／1	第4回目再請求書発送(振込期日:7／末)	
8／1	第5回目再請求書発送(振込期日:8／末)	
8／10		会費自動引き落とし日
8／20		振込期日
9／1	第6回目再請求書発送(振込期日:9／末)	第1回目再請求書発送(振込期日:9／末)
10／1	第7回目再請求書発送(振込期日:10／末)	第2回目再請求書発送(振込期日:10／末)
11／1	第8回目再請求書発送(振込期日:11／末)	第3回目再請求書発送(振込期日:11／末)
12／1	第9回目再請求書発送(振込期日:12／末) ※12月末日の結果を以て未納の人は、未収入金として計上する。	第4回目再請求書発送(振込期日:12／末) ※12月末日の結果を以て未納の人は、未収入金として計上する。
翌 年 2／10	督促状発送(振込期日:3／15)	
3／20 ～ 4／20	第1回会員審査特別委員会開催(内容証明付き除名勧告書郵送者の確認)	
4／21	除名勧告(内容証明付)郵送(振込期日:5／26)	
6／1 ～ 6／31	第2回会員審査特別委員会開催(除名者及び上程資料の確認)	
7 月 or 8 月	除名者資料として理事会に上程	
8 月	除名者資料として総会に上程	